

開成学園排球部OB会
会報 第28号

1. 総務関係報告および活動予定

- 平成20年 4月 第26回開成・麻布定期戦開催（当番校：麻布）
☆総合優勝☆ 開成（4連覇達成 通算17勝9敗）
5月 年度幹事会開催
6月 OB総会開催（14日）
8月 会報発行
11月 開成・城北交流戦開催（当番校：開成）
- 平成21年 4月 第27回開成・麻布定期戦開催（当番校：開成）
☆総合優勝☆ 開成（5連覇達成 通算18勝9敗）
5月 年度幹事会開催
6月 OB総会開催（20日）
8月 会報発行予定
11月 開成・城北交流戦開催予定

<開成・城北交流戦報告>（文責：平成18年卒小泉）

昨年の11月開成高校において、一昨年に引き続き開成と城北両校の間で交流戦が行われました。まだ歴史の浅い交流戦ですので聞きなれない方もいらっしゃると思いますが、本交流戦は城北高校で先生をしていらっしゃる宮先輩（H9年卒）と栗原先生のご尽力により一昨年より実現したもので、今回の交流戦で晴れて2回目の開催となりました。ちなみに第1回の交流戦では1勝1敗1分けの痛み分けに終わり、今回の交流戦も熱戦が期待されましたが、期待通りの高レベルの緊迫した試合が展開され、一昨年に引き続き大成功を収めることができました。

内容は、高校生・中学生・若手OBの三部門に分けて行い、現役の練習のために1試合だけと限定することはせずに時間の許す限りセットを重ねていきました。試合内容については最後まで息の付かせぬ展開となり、トータルで中学生は城北勝利（1-4）・高校生は城北勝利（1-3）・若手OBは開成勝利（4-0）、ということで今回は2勝1敗で城北勝利に終わりました。両校の実力が非常に高いレベルで拮抗しており、現役の部員としてはとても良い練習の機会になったようで、次回からの交流戦も本当に楽しみなものとなりました。特に現役の高校生は両校とも都で上位に残る実力を持っており（城北：都ベスト16・開成：都ベスト24）、交流戦にもかかわらず公式戦さながらの好ゲームを繰り広げ、今後の躍進を期待させてくれました。

試合の後は場所を移しての懇談会を行いました。両校とも先ほどまでの息のこもった熱戦とは打って変わって、和やかに会話に花を咲かせていました。懇談会が終わると、再戦を固く約束し今後の両校の健闘と友好を誓いあいました。

まだ歴史の浅い交流戦ということもありOBの方は佐藤先輩（昭和40年卒）・関先輩（昭和54年卒）含め少数参加でしたが、今後はOB同士互いに声を掛け合い参加者を募りつつ、いずれは超OB戦も是非とも実現していきたいと思っております。そのときは是非ふるってご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

<平成21年度 第27回開成・麻布定期戦報告>（文責：平成18年卒小泉）

4月中旬、桜の木に緑の葉が混じる中、今年も毎年恒例の開成・麻布定期戦が行われました。昨年・一昨年と麻布開催が続いたということで、今年の定期戦は開成が当番校での開催です。開成は昨年に見事4連覇を達成し、今年は節目の5連覇をかけて必勝を期し27回目の定期戦に臨みました。

また今年には6人制バレーにおいてネットタッチとパッシングの反則について大幅なルール改正があったということで、公式審判員資格をお持ちの片野先輩（S44年卒）に初めに開成式においてルール改正について特別にご教授いただき、それをもとに公正な試合運営に努めました。

中学戦は、相手の麻布が都大会で上位まで残るほどの強豪校であるのに加え、開成はレギュラーがなかなかそろわないなどの理由もあり、序盤は向こうにペースを握られてしまいました。しかし序盤は防戦一方だった開成ですが、相手のミスに付け込むことで一気にペースをつかみ、1・2セットとも逆転で物にし見事勝利を収めました。ただ両校ともサーブミス・レシーブミスが非常に目立ちそれだけで試合の大勢が決まってしまう場面も見受けられ、サーブ・パスという基礎部分の習熟が課題として残ったように思います。

超OB戦は、昨年、十数年ぶりの勝利にもう一步というところまでせまり、「今年こそ念願の勝利を」という期待の中で試合が行われました。今回は特別に50歳以上の方限定の超OB戦もエキシビジョンとして開催されるとあり、超OBメンバーの諸先輩方も例年以上にとっても気合が入っていらっしゃる様子でした。試合は「スパイク・ブロックの麻布」と「レシーブの開成」という様相を呈し、麻布のネットプレイに対し開成は拾って応戦するという展開となりました。しかし麻布の好サーブなどもあり点差はギリギリと離れ、1セット目はセットを取られてしまいました。2セット目も、往年の姿を彷彿とさせる好レシーブ・スパイクが何本も飛び出し一転追い上げムードとなりますが、麻布側の巧みなプレーに連続ポイントを許し、続けてセットを落とし残念ながら今年も破れてしまいました。しかし見学していた現役にとっては、超OBの諸先輩がたの老獪なプレーと普段見慣れない9人制バレーを間近で見ることで、非常に勉強になる試合になったことと思います。

OB戦は、今年も各学年で声かけをし合うことで、とても大勢のメンバーが集まったの試合となりました。1セット目、こちらは今年大学に入学したばかりの若手OBを主体にチームを編成して戦いました。序盤はリードを奪われる展開に少々あせりも出ましたが、中盤からは勢いを取り戻し、危なげなくセットを取ることができました。2セット目は、

初めはベンチで控えていました田沢先輩（H9）・松尾先輩（H12）を主体としてチームを組みました。両先輩とも効果的なスパイクを連発し麻布に大きく点差をつけることができましたが、中盤からはチームとしてカットが多少乱れる場面もありセットを奪われ、勝負は3セット目にもつれこみました。しかし3セット目は一転、効果的なサーブ・ブロックも何本も飛び出し常に主導権を渡さずセットを奪取、今年もやや余裕を持って勝利することができました。

高校戦は、例年のように開成が圧倒した結果となりました。去年のレギュラーが多く残っていたほか、高校コーチの米内・山田の方針の下この1年間練習試合を多く積んだことで、非常に完成度の高いチームができあがっていました。1セット目こそ新高校生を中心にメンバーを組んだことで敗れはしましたが、2セット目以降レギュラーが出てからはレフト攻撃を中心に終始押し気味に試合を進め、結果として危なげなく勝利を収めることができました。レギュラー陣はスパイク・ブロックに非常に高い技術を見せてくれ、見ていて非常に頼もしいものがありました。多少サーブカットが乱れる場面が見られたので、そこを修正し更なるチーム力のアップを目指してほしいです。またこの春高校に上がったばかりの後輩たちも十分な活躍をみせてくれ、これからまた次の代としての飛躍をも期待できる内容となりました。これからチーム全体で関東大会を目指すうえでチーム層の厚さというのが絶対不可欠となってくるので、以後下の代からもどんどん突き上げをしていってほしいと思います。この結果を受けて、通算3勝1敗となり今年も開成勝利に終わり、見事定期戦5連覇を達成することができました。

その後は場所を移して懇親会が行われました。先程まではライバルとして勝利を賭けて熱戦を繰り広げましたが、終了のホイッスルが鳴り響いた後には、数10年来の良き友の姿がそこにはありました。OBはお酒を飲みながら麻布・開成の同期同士現役時代の思い出を振り返りながら懐かしい話に花を咲かせていたようです。そして話に一区切りついたところで両校エールの交換を行い、今年の健闘を称え合いつつも来年の再戦を誓いました。

参加OB（敬称略）

吉村（S26）、安井（S37）、山本、芥川（以上S38）、佐藤（S40）、片野（清）（S42）、富部、結城、田中（以上S43）、片野（昭）（S44）小川、山本、竹内、桑田（以上S45）、矢澤（S48）、橋本（S53）、関（S54）、増田（S59）、鈴木（H8）、石川、飯田、田沢（以上H9）、松尾（H12）、大橋、梶原、小泉、米内（以上H18）、金田、西川、日高、山田（以上H19）、北岡（H20）、松山、佐藤、溝口（H21）

2. 平成21年度役員人事

役員

顧問	栗原 弘 先生	幹事長	小泉 達彦 (H18 卒)
	奥山 茂樹 先生	副幹事長	増田 修久 (S59 卒)
名誉顧問	岩谷 昭史 先生	会計幹事	熊谷 達範 (S54 卒)
	伊藤 清一 先生		関 茂和 (S54 卒)
相談役	吉村 功 (S26 卒)	監査幹事	富部 直希 (S43 卒)
	進藤 定夫 (S30 卒)	総務幹事	宮 利政 (H9 卒)
	石束 晃一 (S34 卒)		大内 隆成 (H14 卒)
	安井 高明 (S37 卒)		森 禎三郎 (H16 卒)
	山本 純一 (S38 卒)		小林 祐樹 (H16 卒)
	佐藤 勇 (S40 卒)		浅川 洋貴 (H17 卒)
会長	結城 教仁 (S43 卒)		梶原 啓 (H18 卒)
会長代行	田中 俊一 (S43 卒)	HP 管理幹事	末續 信博 (H18 卒)
副会長	片野 昭秀 (S44 卒)	OBチーム主将	山田 淳也 (H19 卒)
	矢澤 俊彦 (S48 卒)	高校コーチ	溝口 晃 (H21 卒)
	市村 幹司郎 (S50 卒)	中学コーチ	北岡 壮太郎 (H20 卒)
	関 茂和 (S54 卒)		日高 貴弘 (H19 卒)

年度幹事

24年～27年	吉村 功 (26卒)	48年	矢澤 俊彦	H4年	神波 泰夫
29年～30年	進藤 定夫 (30卒)	49年	高塚 義弘	H5年	古野 徳一
31年～32年	明渡 久和 (31卒)	50年	松下 和正	H6年	鈴木 大輔
34年	石束 晃一	51年	上野 雅資	H7年	依田 秀則
35年	平松 久和	52年	老川 功明	H8年	鈴木 周
36年	三崎 哲郎	53年	野口 恭司	H9年	宮 利政
37年	安井 高明	54年	関 茂和	H10年	川原 希彦
38年	山本 純一	55年	高浪 孝勝	H11年	楓 淳一郎
39年	鈴木 康之	56年	鈴木 章弘	H12年	川原 尊徳
40年	佐藤 勇	58年	藤森 光章	H13年	丸崎 玲
41年	西山 祐二	59年	清水 誠一	H14年	勝井 政博
42年	片野 清昭	60年	草野 昌行	H15年	丹野 敬大
43年	結城 教仁	61年	津野 泰明	H16年	森 禎三郎
44年	片野 昭秀	62年	奈村 太久馬	H17年	浅川 洋貴
45年	小川 宗男	63年	和知 敏樹	H18年	梶原 啓
46年	西村 隆	H19年	小木曾和宏	H19年	金田 涼佑
47年	松田 信彦	H20年	和里田 聡	H20年	加登 翔太
		H21年		H21年	溝口 晃

3. 会計報告

平成 20 年度 収支報告書

平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

科目	金額	科目	金額
(支出の部)		(収入の部)	
春夏合宿援助費	¥120,000	年会費	¥439,000
現役強化費	¥203,843	受取利息	¥14,292
通信費	¥91,540		
荒川区大会参加費	¥20,000		
麻布定期戦費	¥20,000		
城北交流戦費	¥23,775		
文房具費	¥10,592		
事務費	¥82,125		
慶弔費	¥0		
幹事会費	¥9,010		
送金手数料	¥2,160		
コーチ交通費補助費	¥67,550	永峰氏寄付金より繰入	¥100,000
小計	¥650,595	小計	¥553,292
次年度繰越金	¥4,391,571	前年度繰越金	¥4,488,874
合計	¥5,042,166	合計	¥5,042,166

平成 21 年度 予算

平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

科目	金額	科目	金額
(支出の部)		(収入の部)	
春夏合宿援助費	¥120,000	年会費	¥500,000
現役強化費	¥180,000	受取利息	¥15,000
コーチ交通費補助費	¥60,000	永峰氏寄付金より繰入	¥100,000
通信費	¥90,000		
荒川区大会参加費	¥20,000		
麻布定期戦費	¥20,000		
城北交流戦費	¥20,000		
文房具費	¥10,000		
事務費	¥75,000		

慶弔費	¥10,000		
幹事会費	¥5,000		
送金手数料	¥5,000		
小計	¥615,000	小計	¥615,000
次年度繰越金	¥4,391,571	前年度繰越金	¥4,391,571
合計	¥5,006,571	合計	¥5,006,571

平成 20 年度 永峰光雄氏寄付金特別会計収支報告書 平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

科目	金額	科目	金額
(支出の部)		(収入の部)	
平成 20 年度予算に繰入	¥100,000	入金	¥1,000,000
		(永峰光雄氏ご遺族より寄付)	
小計	¥100,000	小計	¥1,000,000
次年度繰越金	¥900,000	前年度繰越金	¥0
合計	¥1,000,000	合計	¥1,000,000

平成 21 年度 永峰光雄氏寄付金特別会計予算 平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

科目	金額	科目	金額
(支出の部)		(収入の部)	
平成 21 年度予算に繰入	¥100,000	前年度繰越金	¥900,000
小計	¥100,000	小計	¥900,000
次年度繰越金	¥800,000		
合計	¥900,000	合計	¥900,000

会計幹事 熊谷 達範(昭和 54 年卒)
 関 茂和(昭和 54 年卒)
 監査 富部 直希(昭和 43 年卒)

4. 開成クラブ戦績 (文責：平成19年卒 山田)

昨年春、前任の小泉先輩からキャプテンを受け継ぎました。前年度は各OBの都合がつかないこともあり、なかなかメンバーが揃わず、区民大会のみの参加となりました。

区民大会 11月23日

メンバー 小林先輩、森先輩 (以上 H16) 浅川先輩 (H17) 大橋先輩、小泉先輩、米内先輩、末續先輩 (H18) 梅田 山田 (以上 H19) 監督 梶原先輩 (H18)

1回戦 荒和会 OB 25-13 25-13 で勝ち
2回戦 ばれいショ B 25-20 25-18 で勝ち
準決勝 ばれいショ A 25-23 25-22 で勝ち
決勝 ユーセブentakローズ 25-22 19-25 13-15 で負け

以上の結果、見事準優勝することができました！！

現役時代には一緒にプレーできなかった先輩方と試合に参加できたことはとても楽しくもあり、久しぶりに真剣な熱い試合をすることができました。急造チームであったものの、チームワークもよく、充実した試合内容でした。

自分よりも上の代の方々は忙しくなってきた、なかなかメンバーが揃いにくくなっていますが、OB 同士でお互い誘い合ってこれからも定期的に試合に参加できたらと思っています。また、現役チームの練習試合の相手や荒川区以外の一般の大会にも参加できれば、より一層活動の幅を広げることができると感じました。

以上、短いですが戦績の報告を終わります

5. 開成中学戦績 (文責：平成19年卒 日高)

中学コーチの平成19年卒日高です。現在中学生は、ここ何年か遠ざかっている都大会出場を目標に日々練習に励んでいます。以下簡単ですが、去年の中学生の戦績を報告します。

新人戦 (3位) 10月25日

1試合目 対足立区立第六中 15-25 9-25 で負け
2試合目 対諏訪台中 3-25 5-25 で負け
3試合目 対蒲原中 25-16 25-17 で勝ち

まだチームを作る以前に、サーブやレシーブといった基本的なプレーができておらずボロボロな試合でした。決して強い相手ではありませんでしたが、何もできずに終わってしまい中学生の地力の弱さが露呈してしまった結果となりました。

諏訪台中は都で2位なだけあってやはり大敗を喫してしまいました。こちらのミス連続に対し、向こうはミスもほとんどなく幅広い攻撃も使ってきてただ一方的にやられる試合となってしまいました。結果、都大会出場を逃してしまいました。

第3試合は、相手が弱かったことに助けられました。サーブでエースを大量に取れたこと、形はどうであれ相手コートにボールを返せたこと、相手のミスが多かったことが勝因となりました。レシーブをあげて相手のミスを待つというチームの方針が少し垣間見えた試合だったと思います。

城北定期戦 11月1日

18-25、19-25、16-25、17-25、26-24

ほぼすべてのセットでサーブミス、サーブカットミスが目立ちました。流れが悪いときに自分たちで切ることができず、ほとんどが相手のサーブミスでした。また、せっかくサーブ権が移ったのにすぐミスをしてしまう、ということが多々ありました。しかしセッター柳町や中2(当時中1)米内のサービスエース、レフトの中村のスパイクなど成長がうかがえる試合でもありました。最後のセットでは、レシーブで粘りを見せデュースの末なんとか勝つことができました。

六校リーグ(2位) 2月15日

1試合目 対学習院中 25-18 25-15 で勝ち

2試合目 対暁星中 16-25 19-25 で負け

初戦は、柳町とライトの五十嵐のサーブが強く、点を稼ぐことができました。他にもレフト二人が極力「打って返す」ということを実践してくれたので、相手を乱し得点につながりました。また、ねばりの力もついてきており、特に1セット目は良いプレーがところどころに見られました。しかしやはり大事な場面でのミスは否めませんでした。

2試合目の相手は明らかに格上のチームで、試合前は中学生も萎縮気味でしたが、強いチームといえどミスも多く序盤は良い雰囲気でした。ただ試合慣れしていないせいか、大事な場面でのミスがあだとなってしまいました。

麻布定期戦 4月12日

16-25 25-23 25-21 で勝ち

見た感じでは麻布の方が若干格上かなという気はしましたが、相手のミスに助けられて見事勝つことができました。しかし試合の内容自体は良いものではなく、サーブミス連続や、エース深見の不調が目立ちました。合宿で確実にレベルを上げたのですが、いかなせんその成果が見られない試合となりました。

新人戦（3位） 4月25日

1 試合目 対諏訪台中 12-25 6-25 で負け

2 試合目 対尾久八幡中学校 16-25 16-25 で負け

初戦。1セット目は相手のサーブミスが目立ち、序盤は4点差を追いかけている状況でしたが、ブロッカー一枚では強烈なスパイクはどうしようもありませんでした。ただ、相手が強くて一回ミスをした後に同じミスを繰り返さないということを教えなければならぬと思いました。

2試合目の対尾久八幡中戦は、ここで勝てば都大会に行きやすくなるという大事な試合でしたが、相手のサーブが強くてなかなか切ることができず負けてしまいました。自分たちよりも少し格上のチームに勝つには、やはりレシーブが大事と感じました。

ブロック大会（4位）

1 試合目 対銀座中 19-25 25-21 25-27 で負け

2 試合目 対御徒町台東中 7-25 9-25 で負け

3 試合目 対足立十四中 7-25 9-25 で負け

初戦。チーム力的にはほぼ互角のチームでしたが、サーブミス、カットミスが目立ちました。柳町のサービスエース、中村のスパイクなどよい場面もありフルセットでデュースにまで持ち込んだのですが結局負けてしまいました。

第2試合は、運悪く強豪のチームにあたってしまいました。相手の強さに圧倒され、なかなか流れを切ることができずにストレートで負けてしまいました。

3試合目の相手は、まとまりがありよいチームでした。御徒町ほどは強くはなかったのですが、前の試合の雰囲気のまま試合に臨んでしまい流れを切れないまま同じようにストレートで負けてしまいました。

ライトが背の低い選手しかおらず、さすがにこの時期になると1枚ブロックでは限界が見えてきました。そこで佐藤先輩のご協力の下、悲願である都大会出場を目指すべく、レギュラーの改正をいたしました。今の中学3年生は引退も迫っていますが、次は何が何でも、都大会に出場させますので引き続き応援宜しくお願いします。

以上、短いですが、戦績の報告を終わります。

6. 開成高校戦績（文責：高校コーチ 山田）

前年度の高校チームは、前々年度から引き続きの米内先輩による指導に加え、私がサブコーチとして加わるという形で指導していき、関東大会出場を目標にチーム作りをしていきました。

以下短いですが、昨年度の高校生の戦績を報告します。

インターハイ予選 6月8日

1 試合目 対大成高 25-17 25-14 で勝ち

2 試合目 対駒込高 25-15 25-13 で勝ち

コート決勝 対青山学院 22-25 25-20 21-25 で負け

新チームになって初めての公式戦であり、また学校行事も続きほとんどチーム練習ができないまま試合に臨むことになりました。リーグ戦の2試合では両サイドの攻撃が安定して決まり勝つことができましたが、コート決勝ではサーブミスなど単純なミスが多く出てしまい、フルセットの末負けてしまいました。

夏季私学大会 8月20日

1 回戦 対東京学園 25-8 25-8 で勝ち

2 回戦 対安田学園 18-25 17-25 で負け

1 回戦は相手との実力差がかなりあり、相手のミスも多く危なげなく勝ちました。

第2試合の相手・安田学園はインターハイ予選でベスト8の強豪でしたが、ライト攻撃とAクイックはかなりの決定率で決まっていました。レシーブとブロックが課題であると感じました。

秋季大会 9月28日

1 試合目 対日大櫻丘 25-14 25-16 で勝ち

2 試合目 対都立駒場 25-12 25-15 で勝ち

コート決勝 対東海大菅生 20-25 18-25 で負け

リーグ戦の2試合ではサーブレシーブが安定しており、危なげなく勝つことができました。

コート決勝の東海大菅生戦では、開成の苦しいローテでサーブレシーブが乱れると、なかなか悪い流れを切ることができず、2セットとも取られてしまいました。

新人大会

・1日目 11月9日

1 試合目 対麻布 25-11 25-13 で勝ち

2 試合目 対足立西 25-5 25-10 で勝ち

コート決勝 日体荏原 25-7 25-7 で勝ち

・2日目 11月16日

1 試合目 明星 14-25 12-25 で負け

1 日目はレシーブが安定しており、無駄な失点をほとんどせず、危なげなく勝つことができました。

2日目の相手は個々の力は互角であると感じましたが、チーム力で劣っており、また1度ミスが続き、流れが悪くなると、チームの雰囲気が悪くなったまま流れを変えられず、結果的に大差で負けてしまいました。春高予選の出場権は獲得したものの課題の残る試合でした。

春高予選（地区選抜大会） 1月11日

1回戦 対桜美林 25-19 25-21 で勝ち

2回戦 対東洋 11-25 8-25 で負け

1試合目の序盤から中盤にかけては全体的に動きに切れがなく、競った展開になりましたが、中盤以降はブロックやスパイクが決まりだし、また、相手のミスにも助けられなんとか勝つことができました。

2試合目の東洋は、格上の相手であり、力負けという感じでした。高いブロックやレシーブ力のあるチームに対して、いかに点を取っていくかが重要であると感じました。東京都ベスト32という結果でした。

関東大会予選

・1日目 4月26日

1試合目 対城東 25-13 25-10 で勝ち

2試合目 対両国 25-11 25-12 で勝ち

コート決勝 対千歳丘 25-16 25-11 で勝ち

・2日目 4月29日

1試合目 対東海大高輪台 17-25 30-28 25-21 で勝ち

2試合目 对上野高校 17-25 18-25 で負け

初日は、サーブミスや簡単なボールのレシーブミスも目立ちましたが、レフトのスパイクがかなりの決定率で決まり、危なげなく勝つことができました。

2日目の東海大高輪台戦では、第1セットは動きにキレがなく相手のレフトオープンをことごとく決められ、またレシーブミスも多く簡単に取られてしまいました。第2セット中盤からブロックが決まりだし、また繋ぎも良くなり、接戦の末勝つことができました。続く上野は、個々の能力、チーム力ともに高く、なかなか連続得点ができず、力負けという感じでした。

都ベスト24という結果となり3日目には進出できず、残念ながら目標であった関東大会には出場できませんでした。

昨年のチームの反省を生かし、今年のチームでは試合経験を多く積ませることが課題でしたが、開成バレー部OBである佐藤さんや城北高校の宮先生のご尽力により、東大バレー部

や城北高校と練習試合を何度もすることができました。しかし、それでもベスト16に残るようなチームとの試合経験の差を感じる場面が多く、来年以降も試合経験を積ませることは大きな課題であると感じました。これで、コーチとしての期間は終わりますが、OBとしても土曜日に開成に集まって練習試合をするなどの形で協力していければと思いました。1年間、現役や私達コーチを支えてくださったOBの方々、本当にありがとうございました。以上で高校戦績の報告を終わります。

<2年の高校コーチを終えて> (文責：高校コーチ 米内)

昨年のOB総会の席上で「絶対に関東大会に出場する」と明言したものの、残念ながら結果はベスト24止まりで関東に行くことはできませんでした。練習試合においては何度か勝っていた相手に関東大会出場を決めていることを考えると、「くじ運によっては関東に行けたのでは？」と非常に悔やまれるところではありますが、確実にベスト12に入る力をつけることができなかつたのを反省する次第です。

しかし、開成高校バレー部としては4年ぶりに大会初日を突破し、5年ぶりにベスト16決定戦に駒を進めました。このことは非常に意義のあることだと思います。ベスト16決定戦の試合を見に来た下級生達が、「関東大会に行くチームがどれほどの力を持っているのか」を肌で実感し、関東大会に行くためのチーム作りの具体的なヴィジョンとして参考にするなど、今後関東大会を目指していく上で大きな足がかりとしてくれると信じています。

最後に2年にわたってバレーボール部のコーチをする上で支援してくださったOBの方々に御礼申し上げたいと思います。特に佐藤先輩、宮先輩にはたいへんお世話になりました。佐藤先輩からは貴重なアドバイスをいただいただけでなく、佐藤先輩の御尽力のおかげで東京大学のバレーボール部や都大会ベスト8やベスト16の高校と何度か練習試合をすることもできました。また、城北高校で行う練習試合には宮先輩が招待してくださったので、多くの試合経験を積むことができ、練習試合をなかなか取ることができない開成バレー部としては大変助かりました。心より御礼申し上げます。

また、平成16年卒の森先輩・小林先輩、平成18年卒の浅川先輩・荒田先輩には現役の試合相手や指導、大学のサークルとの練習試合を数多く組んで頂き、大学生活が忙しい中で多くの労をとってくださったことに謝意を表したいと思います。他にも平成18年卒、平成19年卒のOBを中心に、夏合宿・春合宿では10人を超えるOBの参加もあり、現役にとって刺激になるとともに、大変活気のある充実した合宿を送ることができました。

1年目にサブコーチをしてくれた大橋、2年目とともにコーチをした山田君にもこの場を借りて一言感謝を述べたいと思います。この2人の協力がなければ、到底2年間のコーチ生活を送ることができなかつたでしょう。本当にありがとうございました。

7. 近況報告（敬称略）

- ・超々OB戦に出場し、スパイクやオーバーパスが出来たらと思っています。（S 2 5 大瀧）
- ・後期高齢者になりましたが、なんとか元気です。（S 2 7 岡部）
- ・このところ体調を崩しがちですが、元気で頑張っております。（S 3 0 進藤）
- ・あちこち体が痛む毎日です。（S 3 0 宗近）
- ・大変忙しい日々を過ごしています。（S 3 1 加藤）
- ・元気にやっております。（S 3 5 平松）
- ・冬場は歩くことを多くしています。（S 3 7 上田）
- ・若い人からの気力を貰いに、麻布戦に参加しようと思います。（S 3 7 安井）
- ・出来るだけ早く皆様にお逢いしたいと思っています。（S 3 8 須田）
- ・福岡へお越しの折は是非お声をかけてください。（S 3 9 鈴木）
- ・ご無沙汰しております。何かの折にはぜひ行事に参加したいと思います。（S 3 9 宮崎）
- ・本年4月をもって定年退職いたしまして、那須の本宅に戻りました。（S 4 3 渡部）
- ・現在都留文科大学に勤めております。大学のバレー部の部長もしており、日々バレーにも携わっております。近いうちに必ず顔を出したいと思っています。（S 4 6 柳）
- ・昨年10月より山口県に単身赴任しております。（S 4 9 清水）
- ・今年4月から仙台に転勤となりました。（S 4 9 青木）
- ・気がつけば50歳。この国の行く末も案じられます。（S 5 3 野口）
- ・9年ほどのオランダ勤務から、昨年帰ってきました。これからはバレー部の行事にも参加したいと思います。（S 5 6 天明）
- ・本年4月をもって、函館に異動となりました。（S 6 0 高橋）
- ・忙しい毎日です。（S 6 2 松山）
- ・聖学院大学で講師をしております。（H 5 徳永）
- ・プリンストン大学で教鞭を執っております。（H 6 今井）
- ・本年4月より、都立駒込病院に異動となりました。（H 9 高木）
- ・今年2月に結婚いたしました。（H 9 飯田）
- ・ロサンゼルス勤務をして4年になりました。現地でもバレーを続けているようです（H 1 0 川原母）
- ・毎年麻布戦は参加したいと思っておりますが、週末は練習試合や高体連の仕事で忙しなくなかなか参加できません。（H 1 1 楓）
- ・社会人3年目として順風満帆に過ごしております。（H 1 3 羽方）
- ・一人暮らしと社会人生活という二つの事象が重なり、日々忙しくしています。宇都宮にお越しの折にはぜひ声をかけてください。（H 1 4 勝井）

※開成バレー部OB会の新HP

このたび、H18卒の末續君が新しく開成バレー部OBのホームページを作ってくれました。新設後3年とまだ出来たばかりですが、新HPでは練習日程・試合日程を以前より見やすくし、試合結果についても専用のコーナーを作っています。また掲示板も新設しましたので情報交換の場は以前の掲示板から移行しますのでお気を付けください。旧掲示板にも新HPのアドレスを記載してありますのでそちらからもリンクでとんでいただけます。またコーチの紹介なども入れ、年配の先輩方に現在の開成バレー部の状況を少しでも感じていただければと思っております。

以下アドレスを添付しておきます。

<http://kaiseivolleyball.web.fc2.com/>

※連絡不能者リスト

卒業年	氏名(敬称略)	S 6 2	花島 佳章	H 7	山本 竜太
S 3 0	石村 寛		常深 泰司	H 8	伊藤 俊平
S 3 1	菅原 理之	S 6 3	横井 宏治		谷口 信人
S 3 2	播磨 宣昌		増田 真幸		富樫 裕一郎
S 3 4	澤田 富雄		田中 泰三	H 9	金田 俊介
S 3 5	戸張 勝介		和知 敏樹	H 1 0	佐藤 巧
S 3 6	増田 邦彦		高草 誠		吉野 理
	谷川 進		内田 大介	H 1 1	鶴澤 祐介
S 3 8	須田 誠一		川口 佐実恵留	H 1 2	堀内 直樹
S 4 3	和田 一司	H 1	小木曾和宏	H 1 5	野間 泰伸
S 4 4	丹野 広蔵		向後 淳		山本 渉
S 4 9	村山 哲		末吉 範匡		
S 5 2	小松 雅人	H 2	松川 広乗		
S 5 3	鏑木 孝昭		和里田 聰		
	川田 兼司		藤沼 剛		
	末永 道郎		岩男 理敏		
S 5 5	深津 範寿		片田 久		
	三輪 高明		筒井 康二		
S 5 8	鈴木 信幸		小林 哲緒		
	橋本 考司	H 4	大沢 秀樹		
S 5 9	松本 弘		川村 朋哉		
S 6 0	石井 俊之		後藤 正		
S 6 1	石森 明		林 和典		
	小杉 健	H 5	木本 直宏		
	土田 智一	H 6	大田 英揮		
			鈴木 大輔		
			田端 伸之		
			松浦 恭祐		

開成学園排球部OB会 会報28号

発行 平成21年8月

発行者 開成学園排球部OB会

作成・編集 関(S54卒)、小泉(H18卒)、
米内(H18卒)、日高(H19卒)、
山田(H19卒)